

就任のごあいさつ

副議長
原 田 博議 長
西 川 健 三

私どもは、9月の定例市議会において議長・副議長に選出されました。

ご承知の通り、私たちの大竹市は、社会の高齢化と人口の減少傾向を跳ね返すための定住化政策の実施と、チャンスのあるまちとするための都市基盤の整備、また厳しい財政状況の建て直しなど、いろいろな行政課題を抱えています。

市長は、それらの課題に対して、様々な解決策を見出し、私たち市議会議員に相談し、提案する役割を担います。

私たち市議会は、市長からの相談・政策提案に対して、的確な判断でもって対応しなければなりません。

このような時に、議長・副議長として議会運営にあたらせていただくことは、誠に身に余る光栄であり、その職責の重さを痛感いたしているところでございます。

もとより、微力ではございますが、これまで市議会議員として務めてまいりました経験を踏まえ、「私たちのふるさと大竹」のために、さらに全力を傾注してまいり所存でございます。

改めて申し上げるまでもなく、市議会議員は、それぞれが3万人市民を代表しています。

考えがあるように、一人ひとりの市議会議員にも、それぞれ異なった立場、考え方が当然でございます。

大竹市の将来を左右する諸課題が山積する中、行政の執行を負託されている市長は、重大な決意を持って、ことに臨み、再び「私たちのふるさと大竹」に元気を取り戻す基礎を作り上げる覚悟を示されています。

私たち市議会議員は、立場は異なることがあるかもしれませんが、それぞれ「ふるさと大竹市」を良くしたいという気持ちに変わりはありません。

私たちは、市長からの相談・政策提案に対して、議会の中で、それぞれが市民の目線に立ってしっかりと討議することによって、的確な判断でもって対応し、さらには、議会の意思として市長に政策を提案するという積極的な議会でありたいと思っております。

私たちは、円滑な議会運営によって、市議会が市民の皆さまのご意見をしっかりと受け止めた判断をするよう、力一杯の努力をしてまいり所存でございます。

今後とも、市民の皆さま方に絶大なご協力を切にお願い申し上げます。議長、副議長就任にあたりましてのご挨拶とさせていただきます。